



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3435 URL http://www.sanko-techno.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 佐藤 静男 (TEL) 04-7178-5530
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,506	19.1	181	199.6	154	254.1	79	—
25年3月期第1四半期	2,943	4.7	60	—	43	—	△25	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 223百万円(255.4%) 25年3月期第1四半期 63百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	39.11	39.02
25年3月期第1四半期	△12.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,008	7,482	52.1
25年3月期	14,089	7,320	50.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,292百万円 25年3月期 7,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年8月12日開催の取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議しております。平成26年3月期(予想)の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮し記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は50円00銭(期末50円00銭)となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,300	7.1	300	△15.4	290	△14.8	174	20.5	42.76
通期	16,000	5.9	900	3.8	880	4.7	528	19.1	129.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年8月12日開催の取締役会において、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議しております。これに伴い、1株当たり四半期(当期)純利益の予想値は当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)が85円52銭、通期が259円50銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	2,186,352株	25年3月期	2,186,352株
26年3月期1Q	151,669株	25年3月期	151,669株
26年3月期1Q	2,034,683株	25年3月期1Q	2,034,755株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、欧米財政問題や中国経済の成長鈍化などの影響により、依然として不透明感が漂っておりますが、新政権下における経済政策及び金融政策による円安株高の流れを背景に、緩やかな景気回復の動きが感じられました。当社グループが関連する建設市場におきましても、建築耐震関連を含む再開発事業を中心とした需要のほか、震災の復旧・復興需要に明るさが見えてきました。しかしながら一方では、コンクリート等の建設資材の不足や人員不足により、一部地域で工事の着工ペースに遅れが生じております。

このような経営環境のなか、当社グループでは、主力製品のあと施工アンカーの売上が引き続き好調であったほか、ドリルビット関連や太陽光発電市場向け製品の需要が堅調に推移しました。また、利益面では、高付加価値製品の販売増や販管費率の減少により、前期から大幅に向上しました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,506百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益181百万円（同199.6%増）、経常利益154百万円（同254.1%増）、当期純利益は、79百万円（前年同四半期は四半期純損失25百万円）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

建設資材の不足や人員不足により一部地域において工事の着工に遅れが出ましたが、各都市圏を中心とした再開発需要の伸びを受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーやドリルビット関連の販売が順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は2,737百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益は139百万円（同35.8%増）となりました。

②リニューアル事業

外壁補修関連製品や太陽光発電関連の材料販売が順調に推移しました。また、中規模物件の引合いが好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は655百万円（同50.7%増）、セグメント利益は40百万円（前年同四半期はセグメント損失33百万円）となりました。

③センサー事業

電子基板の販売が伸び悩みましたが、アルコール測定器のメンテナンスに伴う安定的利益確保により、セグメント損失は抑制されました。

この結果、当セグメントの売上高は151百万円（同23.9%増）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

なお、数値にはセグメント間取引を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より81百万円減少して14,008百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より243百万円減少して6,525百万円となりました。これは主として短期借入金、未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より162百万円増加して7,482百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

次期の見通しにつきましては、安定政権の下、国内景気は回復することが予想されます。建設業界におきましては、民間設備投資に一部明るさが見えてきましたが、依然として欧米財政問題や中国経済の成長鈍化などの影響が続いております。また、鋼材価格の変動や人員不足による着工の遅れが予測されるなど、引き続き厳しい状況にあります。

しかしながら、新政権下における経済政策及び金融政策による円安株高の流れを背景に、維持保全工事の需要増、自然エネルギーを活用した環境分野での需要拡大など、一部国内景気の回復が期待されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに、建設用ファスニングを主体としたものづくり企業として事業の拡大を目指してまいります。

なお、平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192,609	1,576,856
受取手形及び売掛金	3,414,635	2,728,886
たな卸資産	2,419,146	2,639,353
その他	741,259	706,667
貸倒引当金	△6,885	△7,039
流動資産合計	7,760,765	7,644,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,371,805	1,369,288
土地	3,036,607	3,043,447
その他(純額)	537,792	561,133
有形固定資産合計	4,946,205	4,973,869
無形固定資産	100,014	96,503
投資その他の資産	1,282,944	1,293,783
固定資産合計	6,329,164	6,364,156
資産合計	14,089,930	14,008,881
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,061,024	1,058,914
短期借入金	3,446,320	3,340,488
未払法人税等	228,738	91,662
賞与引当金	130,298	220,521
その他	554,625	491,515
流動負債合計	5,421,006	5,203,102
固定負債		
長期借入金	101,342	87,600
退職給付引当金	1,012,651	1,000,881
役員退職慰労引当金	28,657	29,543
その他	205,372	204,813
固定負債合計	1,348,023	1,322,837
負債合計	6,769,030	6,525,939

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	6,056,145	6,054,338
自己株式	△244,258	△244,258
株主資本合計	7,161,669	7,159,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,164	457
為替換算調整勘定	△6,498	132,594
その他の包括利益累計額合計	△10,662	133,051
新株予約権	9,411	9,411
少数株主持分	160,482	180,616
純資産合計	7,320,900	7,482,941
負債純資産合計	14,089,930	14,008,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,943,257	3,506,168
売上原価	1,983,279	2,397,850
売上総利益	959,978	1,108,318
販売費及び一般管理費	899,420	926,902
営業利益	60,557	181,415
営業外収益		
受取利息	2,180	793
受取配当金	1,256	1,250
仕入割引	9,264	9,796
投資不動産賃貸料	7,674	7,732
持分法による投資利益	1,673	1,237
その他	7,682	4,573
営業外収益合計	29,731	25,384
営業外費用		
支払利息	5,261	3,836
売上割引	23,801	26,551
為替差損	7,049	13,968
その他	10,650	8,294
営業外費用合計	46,762	52,651
経常利益	43,526	154,149
特別利益		
投資有価証券売却益	—	120
特別利益合計	—	120
特別損失		
固定資産除却損	1,594	156
役員退職慰労金	72,162	—
その他	777	—
特別損失合計	74,533	156
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,007	154,113
法人税等	△10,362	75,291
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△20,644	78,821
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,968	△759
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,613	79,580

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△20,644	78,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,659	4,623
為替換算調整勘定	85,323	140,511
その他の包括利益合計	83,664	145,134
四半期包括利益	63,019	223,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,876	203,792
少数株主に係る四半期包括利益	17,143	20,163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,401,117	432,410	109,730	2,943,257	—	2,943,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,628	2,537	12,697	18,863	△18,863	—
計	2,404,745	434,948	122,427	2,962,121	△18,863	2,943,257
セグメント利益又は セグメント損失(△)	102,822	△33,103	△15,288	54,430	6,127	60,557

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,737,537	653,604	115,027	3,506,168	—	3,506,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	340	1,976	36,704	39,021	△39,021	—
計	2,737,877	655,580	151,732	3,545,190	△39,021	3,506,168
セグメント利益又は セグメント損失(△)	139,629	40,349	△2,277	177,701	3,713	181,415

- (注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年8月12日開催の取締役会において株式分割による新株式の発行を行う旨の決議をしております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、一層の投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

2. 株式分割の割合及び時期：平成25年10月1日付をもって平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割する。

3. 分割により増加する株式数 普通株式 2,186,352株

4. 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)	△6.29円	19.56円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	19.51円